

## ベルマーク新聞 3月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035  
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

## 小5がベルマーク型抜き装置で特許

## 兵庫・伊丹の加藤美典さん

様々なサイズのベルマークを簡単に切り抜ける装置を、兵庫県伊丹市の小学5年生が発明し、特許権を取得しました。PTAでベルマークを担当してマークの切り取りに苦勞する母の姿を、目の当たりにしたのがきっかけです。小学生が特許を取るのには珍しく、サポートした特許事務所も「快挙」と驚いています。

名称は「ベルマーク型抜き装置」。同市立有岡小に通う加藤美典さん(11)が考案しました。卓上ホチキスのような形状で、マークを溝に入れ、マークの大きさに合わせて下のコの字型の刃と上の直線刃の間隔を調節。レバーを押し下げると二つの刃が順に溝を貫通して切り抜きます。

ベルマークを財団へ送る際の決まった切り方はありません。各団体が工夫してもらっていますが、切って貼る方法を代々引き継いでいるところが多いようです。有岡小もその一つ。美典さんは昨年3月ごろ、自宅で母の早苗さんがたくさんベルマークと格闘する様子を見つめていました。PTAで集めたマークを自宅で仕分け・集計していたのです。不ぞろいのマークをハサミで切り直すのは大変そうで、「楽にできる方法はないのかな」と思いました。

約1週間後、針を使わずに紙に穴を開けてとじ込むホチキスをいじっていて、ひらめきました。「ベルマークもパチンと1回の操作で切り抜けたら」。弁理士として特許などに関する仕事に携わる早苗さんから、「思いつきだけではだめ。どうすれば使いやすいものができるか考えてみては」とのアドバイスを受け、針



⑤右から、池田義典さん、加藤美典さん、妹の千紘さん、母・早苗さん ⑥特許公報に記載されたベルマーク型抜き装置の構造図

なしホチキスの構造をネットで調べるなどしてイメージを固めていきました。

2カ月近くかけて構想をまとめると、早苗さんが「せっかくなので特許を取ってみる？」と提案。5月初め、神戸市中央区にある天野特許事務所に特許権取得の実務を依頼し、弁理士の池田義典さんのサポートで細部を詰めていきました。

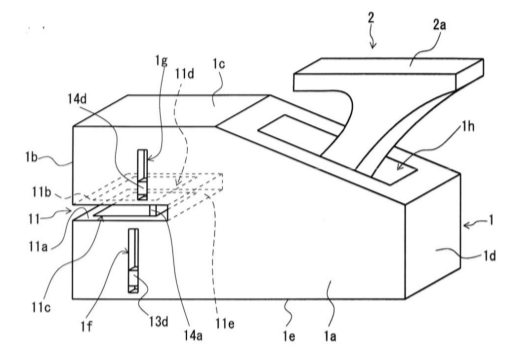
アイデアを形にする過程で苦勞したのは、切り抜く刃をいろいろなサイズのマークに対応できるようにすることでした。海苔の型抜き器具も参考にしました。でも、1枚の刃では切り抜く大きさを変えられません。刃を2枚にしてそれぞれが動くようにしました。刃のサイズなどを決めるため、何種類ものマークを集め

て整理し、計測しました。薄い素材のマークは1方向から刃を当てるとゆがんで切れてしまうことも判明。上下2方向からタイミングをずらして刃を動かすようにして解決しました。1回のレバー操作で二つの刃をうまく動かす点にも頭を悩ませました。

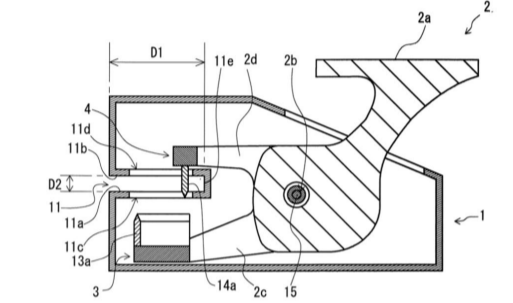
6月の初めに特許庁に出願し、9月28日付で登録されました。無審査で登録可能な実用新案とは違い、特許権取得には産業上の利用可能性、新規性など厳しい審査要件があります。「最初から構想がしっかりしていたので、何とかできると思っていましたが、出願から3カ月での取得は驚きの早さ」と池田さん。

美典さんは図工や絵が得意。今回の特

【図1】



【図2】

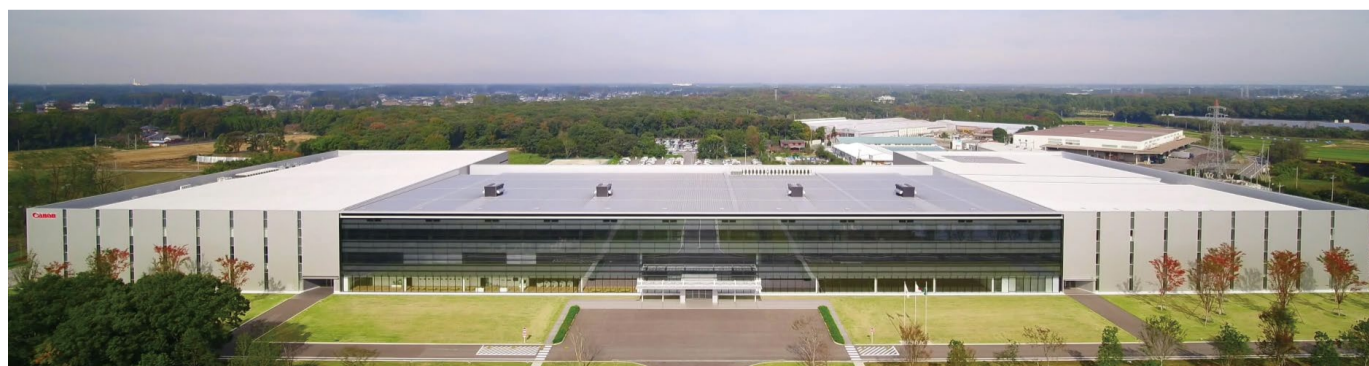


許権取得については、「新しいものを生み出す大変さがわかり、工夫する視野も広がった。いろんなことを勉強しなければ、と思いました」と振り返ります。早苗さんも、「人と違うことを思いついたら、特許という仕組みを使って広く利用してもらったり、お金を稼いだりできるということを学べたのは大きい」と言います。

美典さんの夢は、捨てられた犬・猫の保護施設を運営すること。特許を使って装置を商品化し、資金を集めたいと考えています。「学校に通えないアフリカの子らの支援に役立てたい」とも。美典さんの発明には、小さなベルマークに込められた大きな愛情が重なっています。

## 春休みにリサイクル工場見学はいかが？

## キャノンエコテクノパーク、小学4～6年生対象に



協賛会社のキャノンマーケティングジャパン(ベルマーク番号19)は、ベルマーク活動参加の小学校4～6年生を対象に、インクやトナーカートリッジなどのリサイクル拠点として昨年2月にオープンした「キャノンエコテクノパーク」(茨城県坂東市馬立1234)の見学を募集しています。ベルマーク運動で集めたカートリッジがリサイクル用プラスチックなどに変わる過程を学ぶ

ことができます。

エコテクノパークは、建物の長さが276mもある大きな工場です。磁石を利用したり、重さや大きさの違いを利用したりして部品を分別する過程を体験でき、これらの原理を用いた工場内の自動リサイクルシステムを見学できます。広々としたショールームの一角にはバードウォッチのコーナーもあり、キャノンの望遠レンズを使

って敷地内の水辺を訪れる野鳥を観察できます。

【見学実施日】3月12日・19日・26日、4月2日・9日・23日(いずれも火曜日) ※申し込み締め切りは各実施日の2週間前。

【見学時間】午後1時から約2時間

【人数】1回の受け入れ上限は30人程度。多人数の場合は要相談。少人数での申込みも可能ですが希望が集中した際は日程調整をお願いすることがあります

【アクセス】つくばエクスプレス守谷駅西口から12時10分発のキャノンエコテクノパーク行きバスで約45分。車で直接の場合は、常磐自動車道谷和原インターから約20分、圏央道坂東インターから約10分

【申し込み先】キャノンマーケティングジャパン株式会社CSR本部 環境マネジメント推進グループ 電話 03-6719-9055(平日午前9時30分～午後5時) ファクス 03-6719-8360